

富田青少年交流センター事業のご案内
青少年の学習・体験の機会の提供や子育て支援、ボランティア養成などを通して、青少年の健全育成を行っている施設です。いろいろな講座や、青少年相談、情報提供をしています。また、体育ホールやミーティングルーム等の活動スペースを無料で貸し出しています。ぜひご利用ください。

参加無料

キッズルームそうべえ スタッフプログラム

プラバンでつくろう！

「プラバン」とは、プラスチックの板をりやくしたよび名です。そのプラバンにマジックで絵をかいて色をぬってトースターでやくと・・・?! みるみるうちに小さくなって、お気に入りのキーホルダーのできあがり♪

参加するにはキッズルームそうべえの登録が必要です。
登録していないお友だちは、登録してから来てね。



大きめに図をかいて、トースターで焼くと・・・

【日時】 9月11日(月) 午後4時～5時
【場所】 富田青少年交流センター1階 キッズルーム
【対象】 キッズルームそうべえ参加の
小学1～6年生

キーホルダーのできあがり!
※みほんです。



※熱を加えると、小さくちぢむよ。

キッズルームそうべえのうらばなし

アナゲー ③

今日のアナゲーブームでは、面白い日本製のものもたくさんありますが、アナゲーがまだまだ浸透していなかった頃は、富田青少年交流センターで扱うアナゲーはほとんどヨーロッパ製のものでした。ヨーロッパには家族や仲間とアナゲーを楽しむ文化があり、面白いゲームがたくさんありました。一つ一つのゲームに個性と特徴があるのですが、共通することもあります。

- ルールが単純で、初めてでも幼くても遊べるものが多い
- ルールが細かく決まっていない。だから、初心者や幼い子のためにルールを単純にしたり、上級者向けに、ルールを追加できる自由度がある。



もちろん、電気仕掛けのおもちゃが、スタートボタンを押せば、遊べるものが多いのに対して、アナゲーは、一人じっくり取り組めるものもあるとはいえ、その多くは、ゲームがしたいと思ったら、一緒に遊ぶ人を見つける。いっしょにゲームをしようと声をかける。「いやや」と断られることもあるが、なんとか仲間をみつけて、やっと準備完了。相手がルールを知らなければ、説明しなければなりませんし、ゲームの進行役をしなければならぬかもしれません。アナゲーはなかなか手間がかかります。

ところが、おもしろいゲームであれば、手間がかかろうが何だろうが、苦労も苦にならないものです。

子どもたちの「おもしろい」がうまくいくときもあれば、失敗するときもあります。そんなことを繰り返す経験の白々、いにしえの子どもの遊び文化に通じるところがあると思うのですがいかがでしょう。

富田青少年交流センターは青少年の交流を促進することを役割としています。違う環境、違う価値観、違う経験をもった子どもたちは「おもしろい」と思うことも、それぞれです。そんな様々な「おもしろい」を持ち寄り、まじりあうことで、他者の「おもしろい」出会いと幸せのバリエーションが各々増えるといいなあと思います。(おわり) K・S